

第4回 運営推進会議 議事録

平成 30 年 3 月 22 日

事業所名	デイサービスセンター「笑くぼ」			
開催日時	平成 30 年 3 月 20 日 (火) 14 時 30 分 ~ 15 時 30 分			
開催場所	デイサービスセンター「笑くぼ」フロア隣接の部屋			
参加者	利用者	1 名	知見を有する者	1 名
	利用者家族	1 名	地域包括支援センター	1 名
	地域住民の代表	1 名	事業所職員	4 名
議題	1 運営状況			
	2 ヒヤリハット・事故報告			
	3 前回の課題			
	4 運営委員からの質問			
	5 運営委員からの評価			
	6 今後の課題			
会 議 録				

1 運営状況

- 利用状況
利用定員17名のところ、一日平均利用人数14.4名。
利用者人数32名(男性7名、女性25名)。
要介護度が高い方が多くなってきている。笑くぼを長く利用している方が多いため。
- 月行事
10月:ハロウィンイベント
11月:紅葉狩り
12月:クリスマス会
1月:初詣(武田神社)
2月:節分、梅の花見(敷島総合公園)
3月:ひな祭り会
月1回:外食レク(1月~は感染症予防のため休止)、おやつ作りレク
・季節を感じていただくため、初詣や、梅の花見などの外出を行なっている。
・おやつ作りでは、フレンチトーストやお雑煮のような新しいものにも挑戦している。
- 月行事以外の活動
H29.10: コラニー文化ホール作品出展 H29.11: 甲府市役所 介護健康フェア作品出展
H29.12: 中銀南支店 クリスマスリース展示 H29.12.21: すみよし愛児園へ手作り顔出しパネル寄贈
H30.2: 広報誌「グットケアー便り」発行、配布 H30.2: 同広報誌、新聞折込にて市内3万部配布
H30.3: すみよし愛児園の卒園児・進級児への手作りメダル寄贈(予定)

2 ヒヤリハット・事故報告

- ① 《日時》H30.3.9 《内容》男性・92歳。トイレから浴室の移動の際に尻もちをつく形で転倒。
《対応》利用者の状態観察。その後ご家族及びケアマネジャーに管理者より電話にて報告。状態に変化が見られない事やご家族判断にて通常通りデイを利用される。帰宅時にご家族不在の為、連絡ノートにて電話報告以降の状態報告をさせていただく。翌利用日にもご家族に状態確認をするとともに、利用中の変化には注意して観察を実施。
《対策》事故翌日の朝礼に職員に周知。認知症やADLの低下にて思いがけない行動等をとる可能性がある事を再確認し、介助方法の徹底を行う。職員会議にて全職員に再度確認する。

3 前回の課題

- (1) レクリエーション・イベントについて
⇒屋外歩行の機会を設けて欲しいと要望を受けていたが、実施出来ていない。今後も継続した課題として取り組みたい。
- (2) 利用者の作品展示の場について
⇒H29.10コラニー文化ホール、H29.11甲府市役所 介護健康フェア、H29.12中銀南支店に作品展示。
- (3) 「見る」視点を増やす
⇒「見る」だけでなく「診る」「観る」など様々な視点から利用者様を観察できるよう、毎日の朝礼にて変化を確認するようにしている。

(裏面に続く)

4 運営委員からの質問

- ・ デイで外出する機会が多いが、移動は送迎車を使っているのか？もしもの時のために保険等に加入しているか？
- ・ 非常災害時、指定の避難所に避難するより、事業所内で待機しておいた方が良いケースがあると思うが、事業所の備蓄の義務や、備蓄状況はどうなっているか？

普段の送迎車を使い外出している。自動車保険はもちろん、福祉事業者向けの保険に加入しているが、外出レク中に適用されるか微妙なところ。事業所内でサービスを提供することが原則であるが、適切なマネジメントに基づき、サービス提供の一環として、機能訓練等の目的で外出レクを行なっている。

デイの制度的には備蓄の義務はないが、避難確保計画で努力するよう指導されている。利用者と職員の数日分の備蓄は確保されていないのが現状。

5 運営委員からの評価

(利用者)

- ・ 外出するのは楽しい。レクで作成した塗り絵等は部屋に飾っている。レクで作った作品を色々なところで展示してもらえると良いと思う。

(利用者家族)

- ・ デイで外出した日は、本人も帰ってくると嫌嫌がよい。デイを利用していない土日に母を連れて外出することはほとんどないので、デイでの外出には期待している。難しい面もあると思うが、家族も安心して外出できるよう、頑張っていきたい。

(地域住民の代表)

- ・ いきいきサロンで外出する際には、利用者に一日傷害保険に加入してもらい実施している。デイでの外出レクの参考になれば(1日40～50円、事前に利用者名簿を提出)。
- ・ 住吉地区の避難所は「山梨県自治会館」になるが、およそ1000人が避難してくることとなり、備蓄してある水ではとても足りない。各自で水だけは確保する必要がある。
- ・ AEDは使い方が分からないとどうにもならない。救命救急の講習会を検討してみたい。又、地域の防災マップを4～5月に更新予定。AEDの最新の設置状況や、近隣地区の情報も掲載する。

(知見を有する者)

- ・ 外出レクは利用者の転倒等のリスクがある中、笑くぼはよく頑張っている。楽しみとリスクをしっかりと検討し、これからも頑張っていきたい。
- ・ 非常災害はどこまでを想定して計画を立てるべきかが難しい。地域によって起こる災害が違うので、自事業所で起こる災害をしっかりと把握しておくことが重要(濁川の水位上昇は早い傾向がある)。

(地域包括支援センター)

- ・ 外出レクに関しては、家族ともコミュニケーションをとり、楽しみやリスクを把握し、意見を聞きながら進めてほしい。
- ・ 定員18名以下の小規模のデイが地域密着事業所と位置付けられ、住吉地区の地域密着の事業所同士がそれぞれ交流を行なっているが、小規模でない住吉地区のデイとも交流をもってみるのも良いのではないか(「そよ風」等)。
- ・ 小規模な事業所だと様々なケースの非常災害に対応するのは難しい。そのため地域に助けてもらえるような関係作りが大切。笑くぼからも地域に対して何か協力できることがあるか模索してほしい。
- ・ 非常災害時、利用者が自宅へ帰れなくなったとき等のために、利用者の服薬状況を家族に確認し把握しておくことが大切(薬を切らすと命に係わる等)。普段からやっていることが有事の際にも役立つ。

6 今後の課題

○ 今後の予定

月間行事、月1回の外食、おやつ作り。防災訓練。すみよし愛児園への手作りメダル寄贈。

○ 屋外歩行の機会

利用者より屋外歩行の機会を増やしてほしいと要望をいただいていたが、実施できていないので、継続した課題として取り組む。

○ 外出レクに関して

利用者・ご家族が安心した外出レクを行えるよう、リスクを踏まえた検討を行う(一日傷害保険等も検討する)。外出先で事故がないよう、職員皆で細心の注意を払い実施する。

○ 非常災害への備え

自事業所で起こり得る非常災害を把握する。また有事の際、地域と助け合える関係を目指す(地域の防災訓練:5/20青葉町スポーツ広場)。笑くぼから地域に対して協力できることを模索する。利用者の服薬状況を再確認し、有事の際、適切な対応が取れるよう、あらかじめ備えておく。

○ 救命救急講習

AEDの適切な使用のために、救命講習を職員に実施する。

→弊社ヘルパーステーションで実施予定。デイ職員含む全社的な受講を予定。